

静岡おでん祭 2026
来場者アンケート調査
報告書



2026（令和8）年3月

公益財団法人するが企画観光局




目 次

1. 調査の概要.....	2
(1) イベントの概要.....	2
(2) 調査対象.....	2
(3) 調査事項.....	2
(4) 調査方法.....	2
(5) 配付物、掲出物.....	3
2. 調査結果のサマリ.....	4
3. 調査結果の詳細.....	5
(1) 来場者の属性.....	5
① 居住地.....	5
② 性別.....	6
③ 年代.....	7
(2) 静岡おでん祭に関すること.....	8
① 静岡おでん祭への来訪日.....	8
② 静岡おでん祭への来場回数.....	9
③ 静岡おでん祭を訪れるきっかけとなった情報源（複数回答可）.....	10
④ 静岡おでん祭の親しい知人への推奨度.....	12
⑤ 項目別の満足度.....	13
⑥ 静岡おでん祭への再訪意向.....	14
⑦ 会場内における1人あたり消費額.....	15
(3) 今回のお出かけに関すること.....	16
① 行程.....	16
② 宿泊先（前問で“宿泊”と回答した方のみ）.....	17
③ 今回のお出かけで利用した（又はする予定の）交通手段（複数回答可）.....	18
(4) 静岡おでん祭への意見感想（任意回答）.....	20
① 特に良かったこと.....	20
② 不便・残念だったこと.....	21

1. 調査の概要

(1) イベントの概要

名 称	静岡おでん祭 2026
内 容	「おでん」は地域の風土を色濃く反映した、その土地ならではのソウルフード。その素朴な味わいは常に懐かしく、心も体もあたたまるものです。「静岡おでん」は全国的な認知を得つつありますが、全国には静岡市民がまだまだ知らないお店、未体験の味がたくさんあるはず。「おでん」の豊かな食文化に広く関心を抱いていただき、そのおいしさを再発見する機会として開催します。 (静岡おでん祭ホームページから引用)
日 時	2026 (令和8) 年2月27日 (金) ~ 3月1日 (日)
会 場	青葉緑地 (葵区替町二丁目~常磐町二丁目地先)
参加者数	3日間延べ約 350,000 人
天 候	開催数日前から気温が上昇し、3日間とも天候に恵まれた中での開催となった。  tenki.jp「静岡(静岡県)の過去の天気」を加工して作成 (https://tenki.jp/past/2026/02/weather/5/25/47656/) (https://tenki.jp/past/2026/03/weather/5/25/47656/)

(2) 調査対象

静岡おでん祭の来場者 【サンプルサイズ 244 人】

※3月8日(日)まで回答受付

(3) 調査事項

- ・基本属性(性別、年代、居住地など)
- ・静岡おでん祭に関すること(消費額、情報源、満足度など)
- ・静岡おでん祭への意見・感想 ほか

(4) 調査方法

会場内インフォメーションブースにて、来場者にパンフレットとあわせてアンケートチ

ラシ(回答フォームのQRコードと景品を掲載)を配布した。また会場内飲食スペースに、ラミネート加工したチラシを設置した。回答者は自身のスマートフォンからQRコードを読み取りWEBフォームから回答した。

(5) 配付物、掲出物

- ① A4 チラシ (2000 部)、A5 ラミネートチラシ (100 部)

静岡おでん祭 2026

WEBアンケートにご協力ください

静岡おでん祭に対する満足度や今回のお出かけの内容についてお答えください。

**静岡おでん缶を
抽選で20名様にプレゼント!**

静岡おでん缶 20名様

※景品写真はイメージです。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は、来訪者の分析及び
当選者への商品発送のためのみに使用します。

静岡おでん祭実行委員会
(調査事務局：公益財団法人するが企画観光局 054-204-6677)

2. 調査結果のサマリ

「様々な地域や店舗のおでんを食べ比べできる」要素を中心に、イベントの強みがきちんと訴求され、全体的に高い評価が得られていることが本調査から確認出来た。来場者の主な特性は、居住地別に次のとおり整理できる。

項目	市内 (n=134)	県中部 (n=44)	県内 (n=42)	県外 (n=24)	前回からの 主な変化
性別	男女同程度				—
年代	40代～60代				50代以上が増
リピーター	多い	←—————→		少ない	リピーター増
情報源	チラシ		口コミ	チラシ	チラシ増
推奨度	全体的に高評価				12Pt 増 (特に市内増)
再訪意向	非常に高い				—
行程	日帰り			6割が宿泊	—
消費単価	約 2,400 円	約 1,900 円	約 2,600 円	約 3,100 円	800 円程度増
交通手段	徒歩	在来線・車		新幹線・車	車利用減

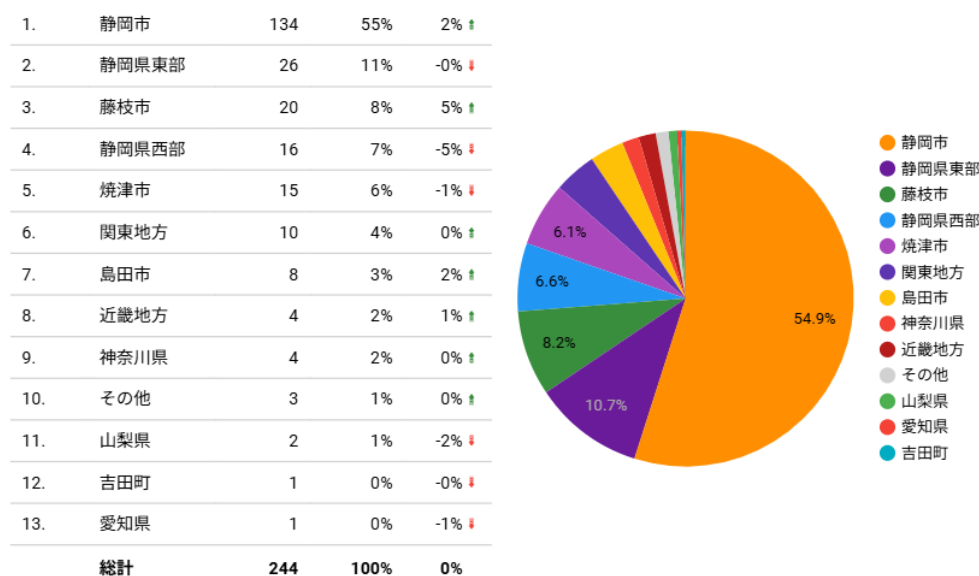
3. 調査結果の詳細

(1) 来場者の属性

① 居住地

- 「静岡市」が55%と最も多く、次いで「静岡県東部」が11%、「藤枝市」が8%となった。
- 昨年に比べ、「藤枝市」が増加し、「静岡県西部」が低下した。
- 居住地を大別すると、「県内」が17%、「県外」が10%と、遠方からの来場も多く見られた。
- 回答数が少ない居住地が多く存在するため、以降の分析では、「静岡市」、「県中部（静岡市を除く4市2町）」、「県内」、「県外」でデータを区分することとする。

居住地別回答数及び回答割合



居住区分別回答数及び回答割合

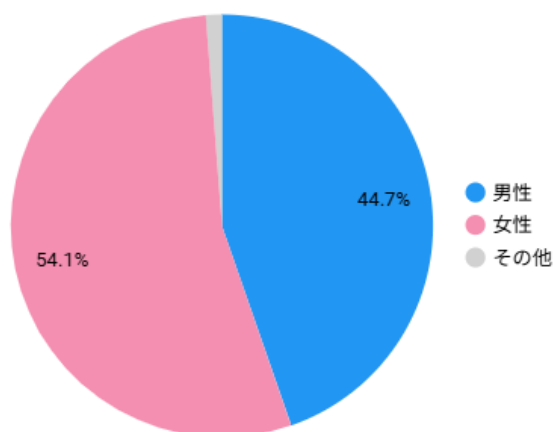
1.	静岡市	134	55%	2% ↑
2.	県中部	44	18%	5% ↑
3.	県内	42	17%	-5% ↓
4.	県外	24	10%	-2% ↓
	総計	244	100%	0%

※「県中部」は静岡市を除く4市2町、「県内」は静岡県西部及び東部とする

② 性別

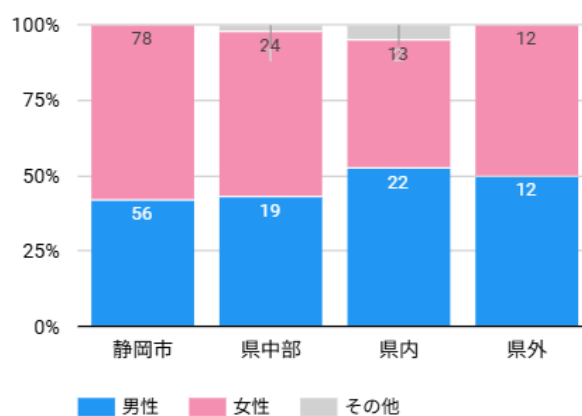
- 「女性」が54%、「男性」が45%と、ほぼ同程度の構成となった。
- 昨年から構成割合に変化は無く、また居住区分別の比較においても、明確な差は見られなかった。

性別回答数及び回答割合



1.	男性	109	45%	-2% ↓
2.	女性	132	54%	2% ↑
3.	その他	3	1%	-0% ↓
	総計	244	100%	0%

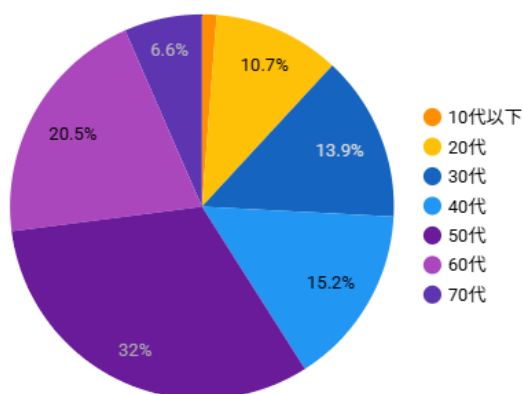
居住区分別・性別回答数及び回答割合



③ 年代

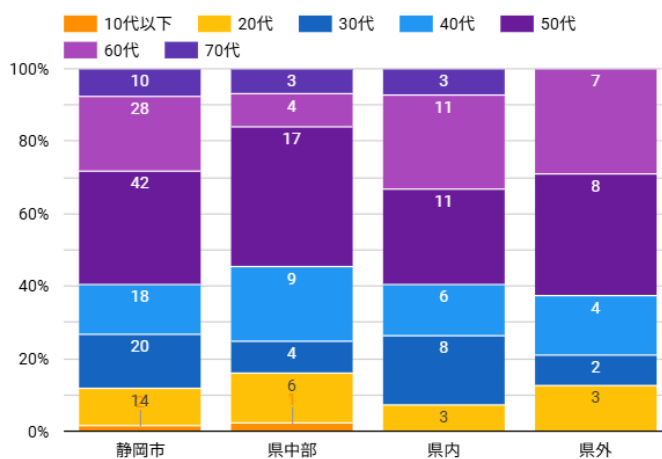
- 「50代」が32%と最も多く、次いで「60代」が20%、「40代」が15%であった。
- 昨年に比べ、50代以上の割合が増加し、40代以下が低下した。
- 居住区分別では、明確な差は見られなかった。

年代別回答数及び回答割合



1.	10代以下	3	1%	-2% ↓
2.	20代	26	11%	1% ↑
3.	30代	34	14%	-4% ↓
4.	40代	37	15%	-8% ↓
5.	50代	78	32%	3% ↑
6.	60代	50	20%	7% ↑
7.	70代	16	7%	4% ↑
	総計	244	100%	0%

居住区分別・年代別回答数及び回答割合










(2) 静岡おでん祭に関すること

① 静岡おでん祭への来訪日

- 「2/28」が43%、「3/1」が18%と、全体の6割程度が土日のいずれか1日の来場であった。なお「3/1」は最終日のため、ほか2日に比べ営業時間が短くなっている。
- 複数日に来場した（又は来場する予定）割合は16%程度であった。

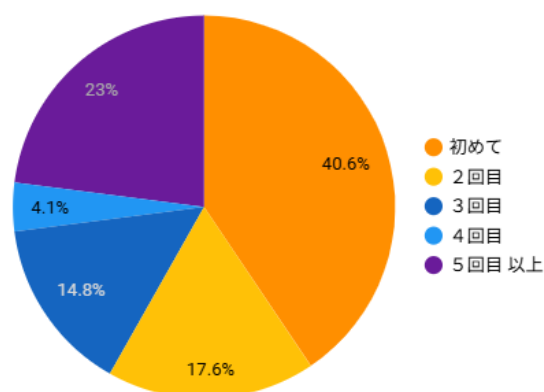
来場日別回答数及び回答割合

1.	2026.2/28	105		43%
2.	2026.2/27	54		22%
3.	2026.3/1	45		18%
4.	2026.2/27,2/2...	12		5%
5.	2026.2/27,2/28	12		5%
6.	2026.2/28,3/1	10		4%
7.	2026.2/27,3/1	6		2%
	総計	244		100%

② 静岡おでん祭への来場回数

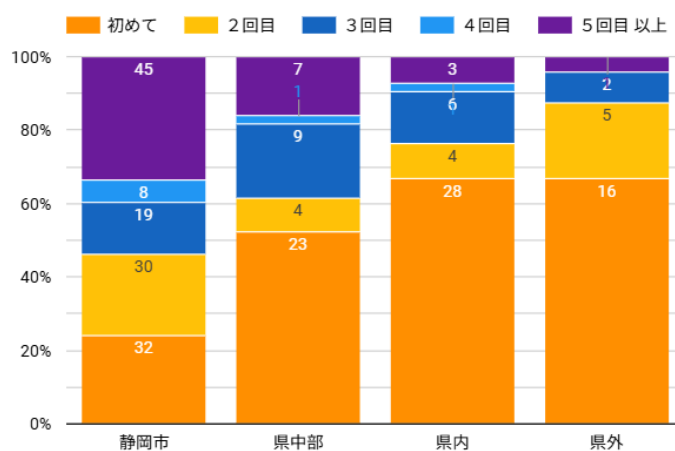
- 「初めて」が41%で最多となり、次いで「5回目以上」が23%、「2回目」が18%であった。
- 昨年に比べリピーター割合が15ポイント増加し、県外からのリピーターも33%（昨年比+15ポイント）と増加した。

来場回数別回答数及び回答割合



1.	初めて	99	41%	-15% ↓
2.	2回目	43	18%	3% ↑
3.	3回目	36	15%	2% ↑
4.	4回目	10	4%	1% ↑
5.	5回目以上	56	23%	9% ↑
	総計	244	100%	0%

居住区分別・来場回数別回答数及び回答割合

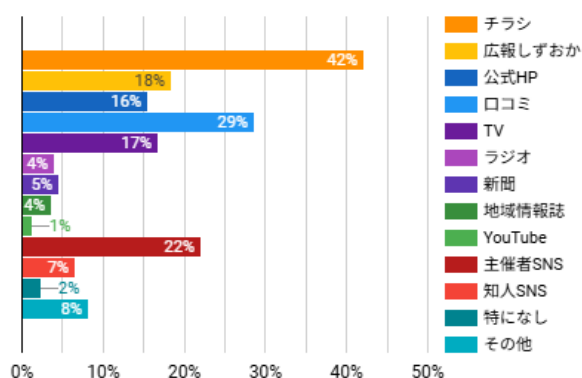


③ 静岡おでん祭を訪れるきっかけとなった情報源（複数回答可）

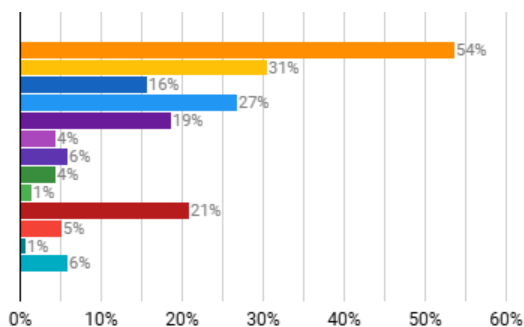
- 「チラシ」が42%（昨年比+13ポイント）と最も多く、次いで「家族や友人・知人の口コミ」、が29%、「SNS（主催者、行政、観光協会等の投稿）」が22%と、上位の媒体は変わらないものの、チラシが大きく値を伸ばした。
- 居住区分別の比較においても「チラシ」が優勢であったが、県中部は「テレビ」、県内は昨年同様「家族や友人・知人の口コミ」が主な情報源であった。

今年

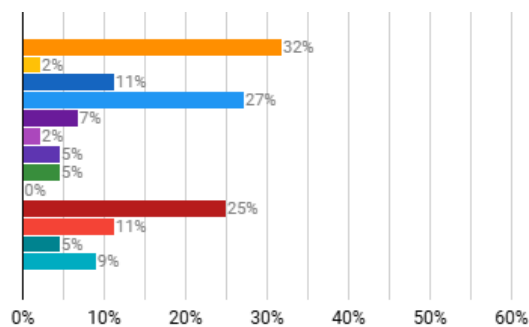
情報源別回答割合（全体）



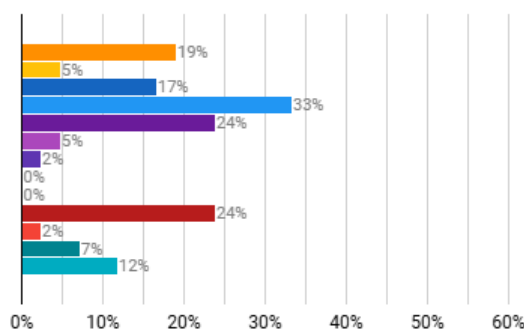
情報源別回答割合（静岡市）



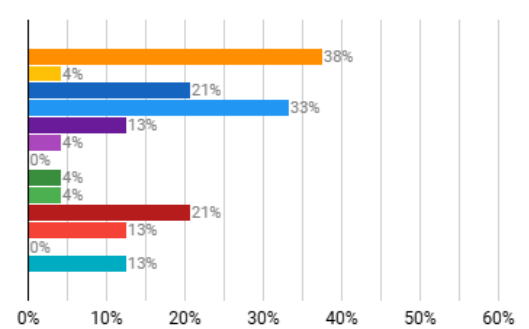
情報源別回答割合（県中部）



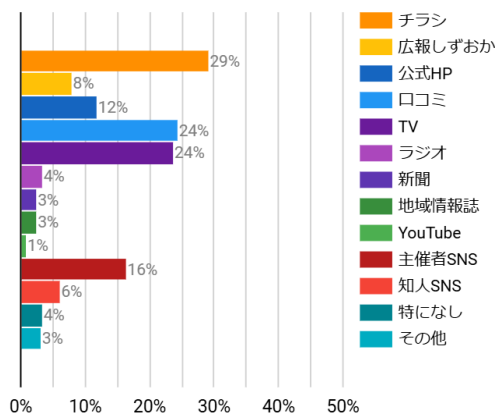
情報源別回答割合（県内）



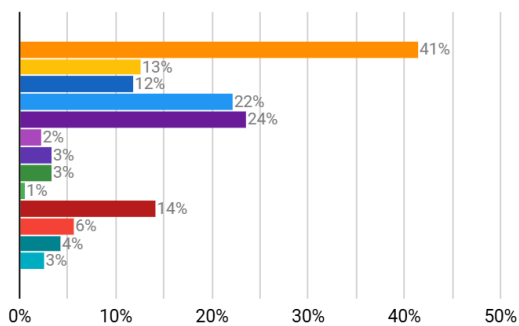
情報源別回答割合（県外）



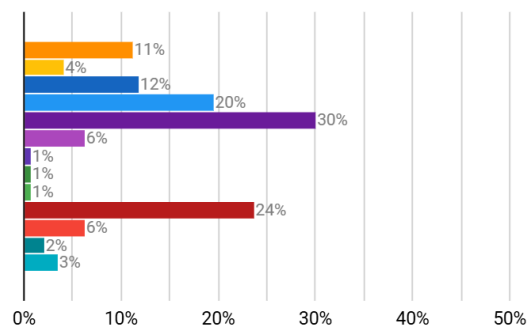
昨年
情報源別回答割合（全体）



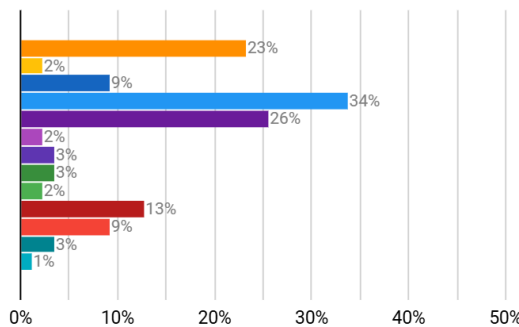
情報源別回答割合（静岡市）



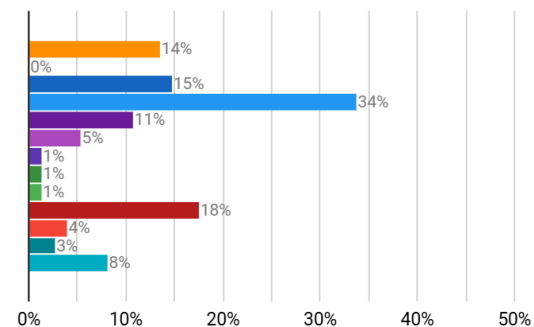
情報源別回答割合（県中部）



情報源別回答割合（県内）



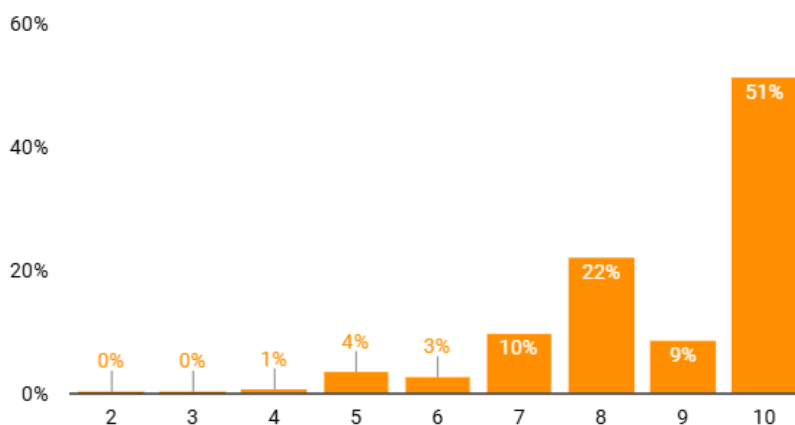
情報源別回答割合（県外）



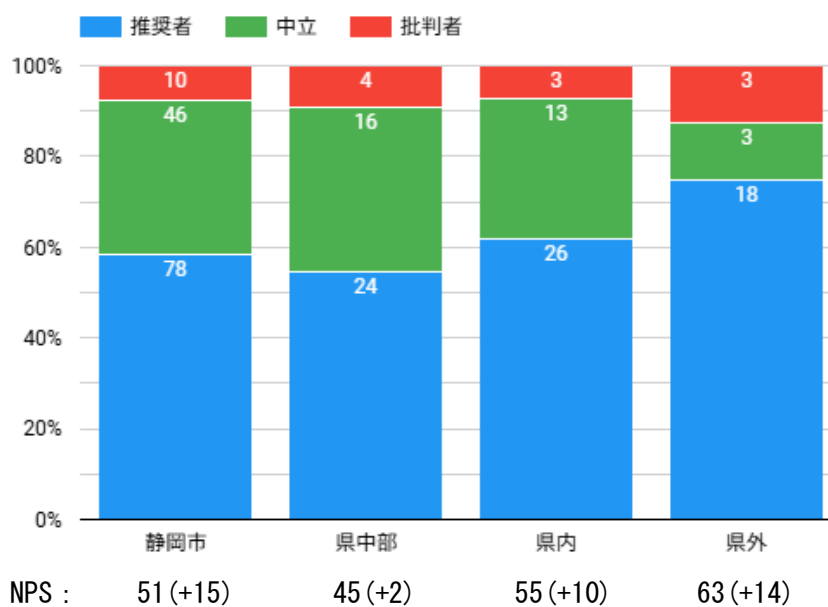
④ 静岡おでん祭の親しい知人への推奨度

- 推奨者（9～10点）の割合から批判者（0～6点）の割合を差し引いたNPS（Net Promoter Score）は52となり、昨年から12ポイント増加した。
- 居住区分別では、昨年同様全体的に高い水準であり、「県中部」以外は昨年に比べ10ポイント以上増加した。

推奨度分布（NPS：52（昨年比+12））



推奨区分別回答数及び回答割合

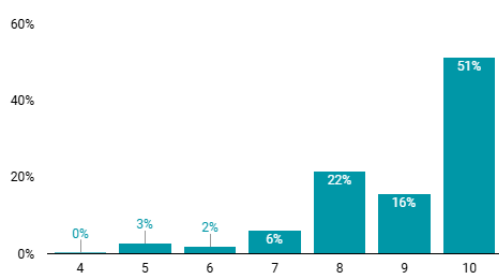


⑤ 項目別の満足度

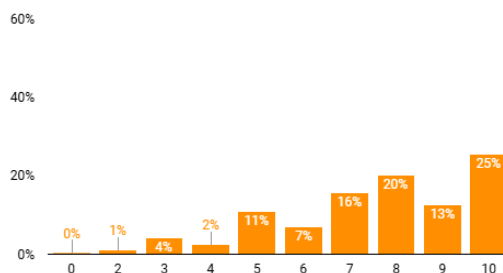
- 全ての指標が昨年比プラスとなった。「味」はNPS・10点（満点）の回答割合ともに最も高かった。
- 「値段」は他の要素に比べてNPSが低いもののプラス域であり、また昨年よりも値の改善が見られた。

項目別満足度の分布

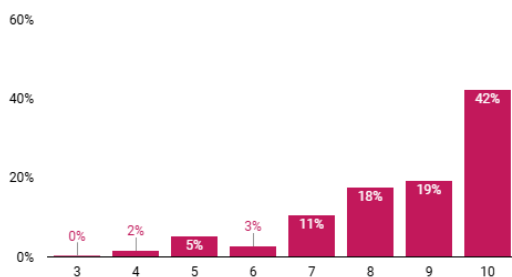
味 NPS : 61 (+6)



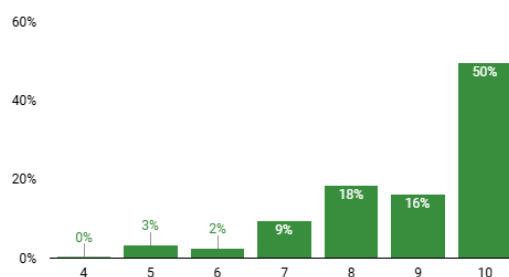
値段 NPS : 12 (+11)



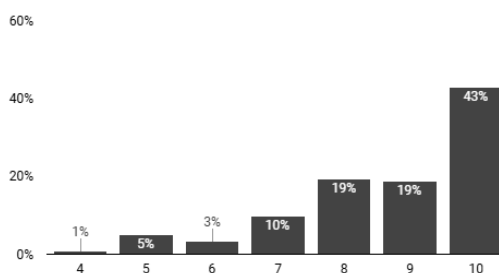
店舗の接客 NPS : 51 (+14)



会場の雰囲気 NPS : 60 (+3)



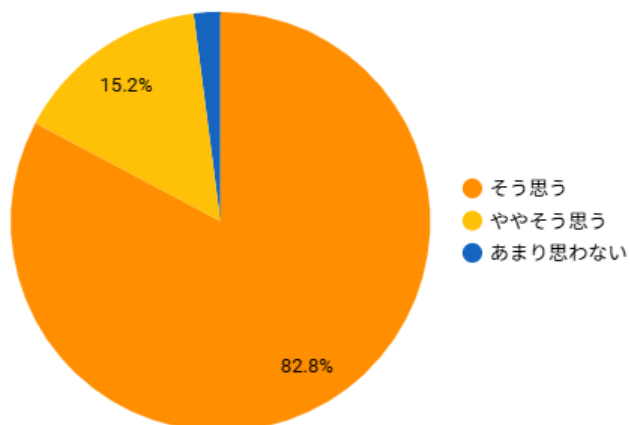
運営 (スタッフの対応等) NPS : 53 (+5)



⑥ 静岡おでん祭への再訪意向

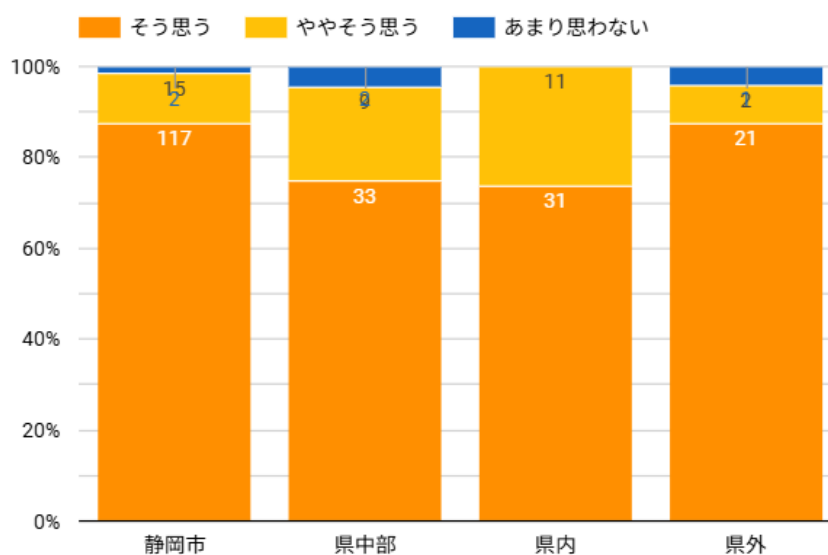
- 「そう思う」が83%、「ややそう思う」が15%と、極めて高い再訪意向が認められた。

再訪意向別回答数及び回答割合



1. そう思う	202	83%	4% ↑
2. ややそう思う	37	15%	-4% ↓
3. あまり思わない	5	2%	1% ↑
総計	244	100%	0%

居住区分別・再訪意向別回答数及び回答割合



⑦ 会場内における1人あたり消費額

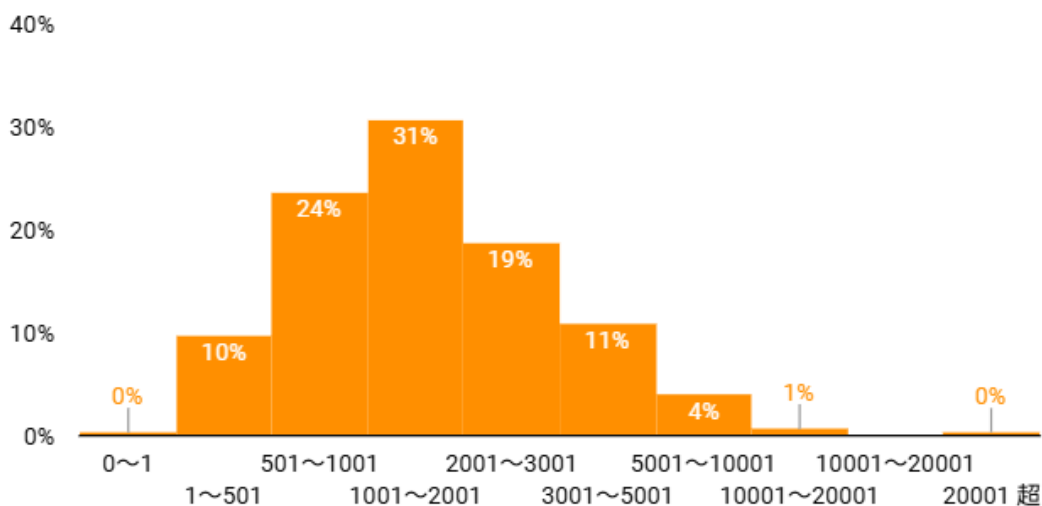
- 1人あたり平均消費額は**2,414円**となり、昨年から829円増加した。居住区分別では県外が3,147円と最多であった。

居住区分別1人あたり平均消費額

居住区分	1人あたり平均消費額	Δ
1. 静岡市	¥2,368	¥813 ↑
2. 県中部	¥1,948	¥504 ↑
3. 県内	¥2,626	¥1,002 ↑
4. 県外	¥3,147	¥1,334 ↑
総計	¥2,414	¥829 ↑

- 会場内の消費額の分布は、1,000円以上2,000円未満が多く、中央値は1,600円であった。10,000円以上の消費は7件であり、最大値は50,000円であった。昨年と比べ1円以上500円未満の割合が減少し、高価格帯に推移している。

1人あたり消費額頻度分布



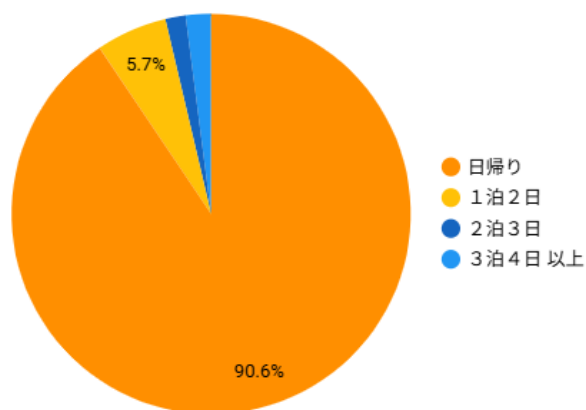
※本調査では、消費額が過大となる問題を回避するため、「消費した合計額」と「当該金額が何人分か」に分けて質問し、1人あたりの消費額を算出している。分析にあたり、「消費した合計額>0円」かつ「当該金額が何人分か=0人」の回答については、金額を0円に補正した。

(3) 今回のお出かけに関すること

① 行程

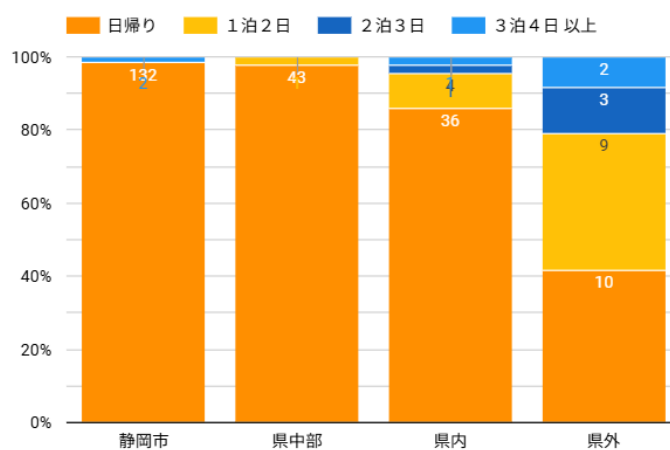
- 「日帰り」が91%と多数を占めたが、県外からの来場者は約6割が1泊以上の宿泊を伴う行程であった。

行程別回答数及び回答割合



1.	日帰り	221	91%	-1% ↓
2.	1泊2日	14	6%	0% ↑
3.	2泊3日	4	2%	0% ↑
4.	3泊4日以上	5	2%	1% ↑
	総計	244	100%	0%

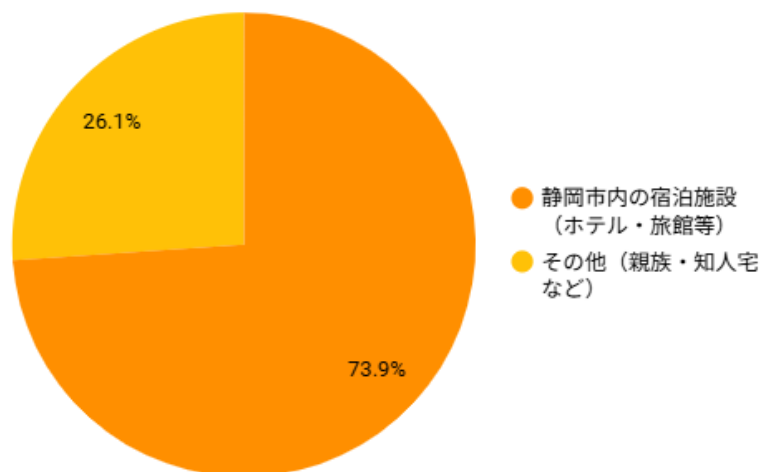
居住区分別・行程別回答数及び回答割合



② 宿泊先（前問で“宿泊”と回答した方のみ）

- 宿泊を伴う来訪者 23 名のうち、「静岡市内」の宿泊施設（ホテル、旅館等）を利用したのは 17 名（74%）であった。
- 今回調査では、「静岡市外」の宿泊施設（ホテル、旅館等）の回答は 0 件であった。

宿泊先別回答数及び回答割合

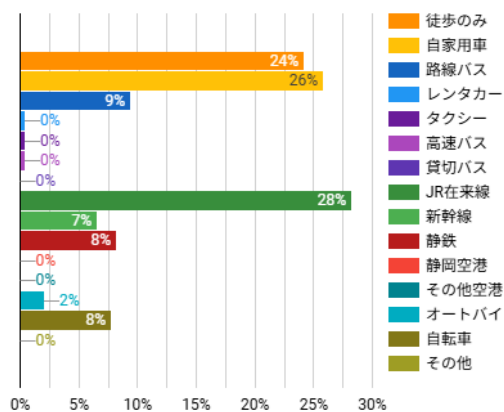


1.	静岡市内の宿泊施設（ホテル・旅館等）	17	74%	24% †
2.	その他（親族・知人宅など）	6	26%	-14% †
	総計	23	100%	0%

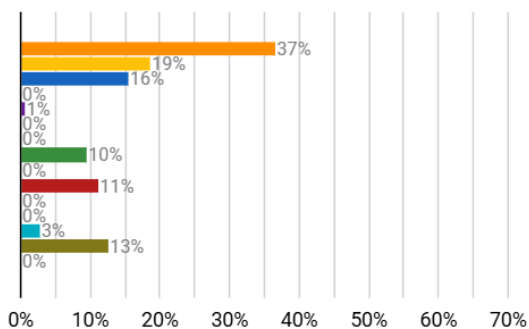
③ 今回のお出かけで利用した（又はする予定の）交通手段（複数回答可）

- 「JR在来線」が28%で最も多く、次いで「自家用車」が26%、「徒歩のみ」が24%であった。
- 市内からの来場は「徒歩のみ」が37%と最多となった。県外からは「新幹線」を使った来場が61%と、昨年最多であった「自家用車」を上回った。

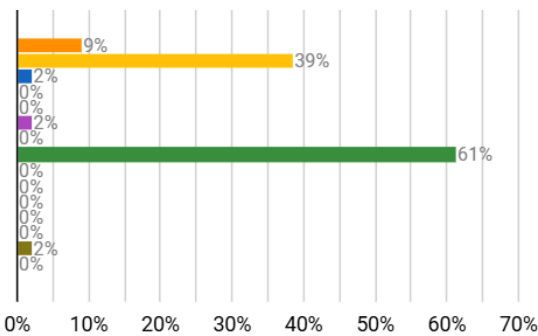
今年
交通手段別回答割合（全体）



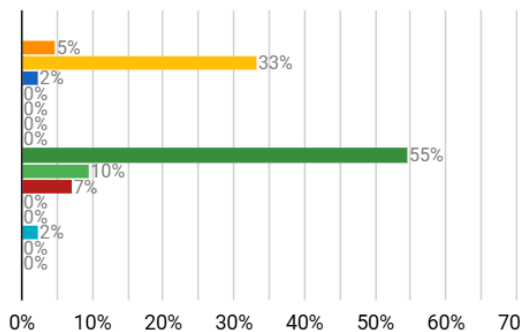
交通手段別回答割合（静岡市）



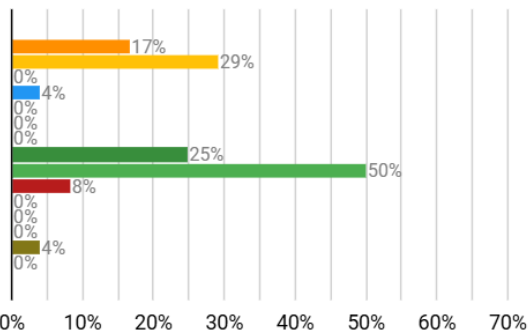
交通手段別回答割合（県中部）



交通手段別回答割合（県内）

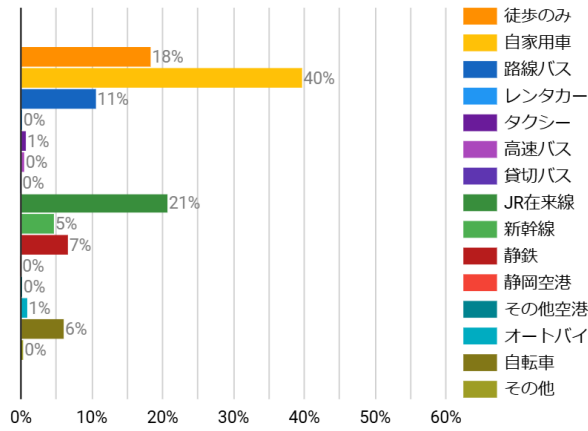


交通手段別回答割合（県外）

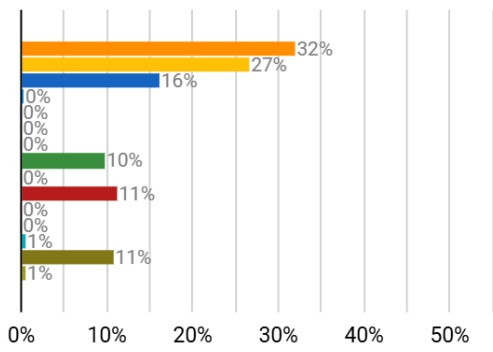


昨年

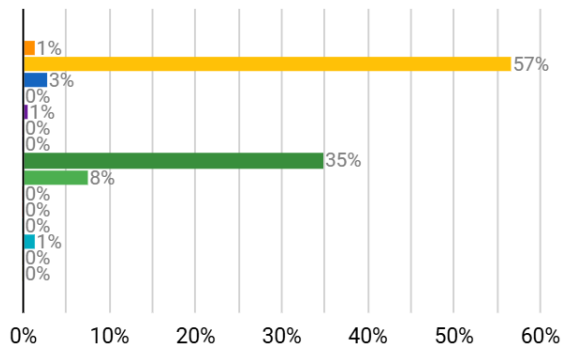
交通手段別回答割合（全体）



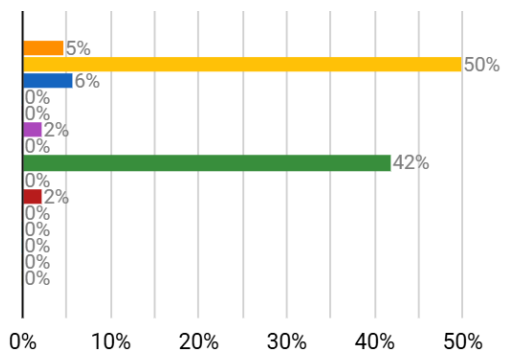
交通手段別回答割合（静岡市）



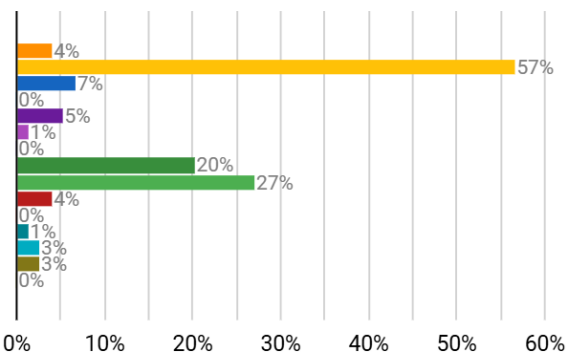
交通手段別回答割合（県中部）



交通手段別回答割合（県内）



交通手段別回答割合（県外）



(4) 静岡おでん祭への意見感想 (任意回答)

① 特に良かったこと

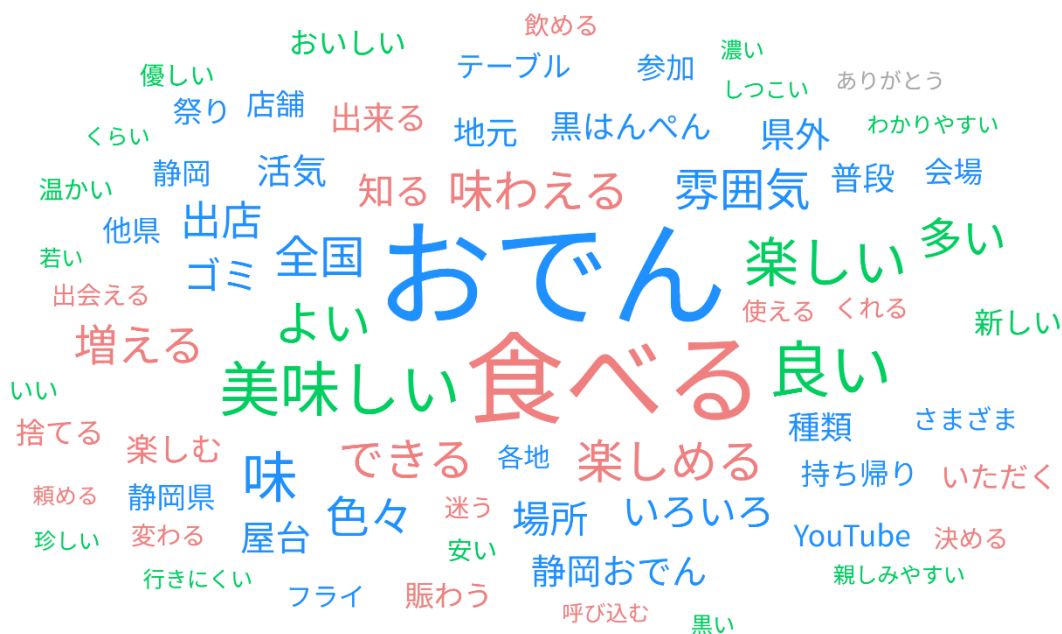
昨年に引き続き「おでん」が圧倒的多数を占め、「普段食べられない他地域のおでん」という特別感や、「複数の店舗を食べ比べできる」という祭の楽しみ方が訴求できている点も同様であった。そのほか、会場の雰囲気が良かった点や、ゴミステーションが適切に設置されていることで食べ歩きがしやすかった点なども昨年同様評価されている。

全体として、参加者はイベントを通じて多様なおでんを楽しみ、活気ある雰囲気の中で楽しい時間を過ごせたことに良い印象を抱いている。

- おでん (86 件)、全国・他県・県外・色々 (37 件)
 - ・・・地元の名店のおでんが集結、他県の特徴的なおでんが食べられる
- 雰囲気 (11 件)
 - ・・・とにかく雰囲気！まさにお祭の賑わいが良かった
- ゴミ (7 件)
 - ・・・ゴミの分別がわかりやすく、多くの場所にあった

(n=161)

【ワードクラウド図】 ※青字…名詞、赤字…動詞、緑字…形容詞



出典：ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析

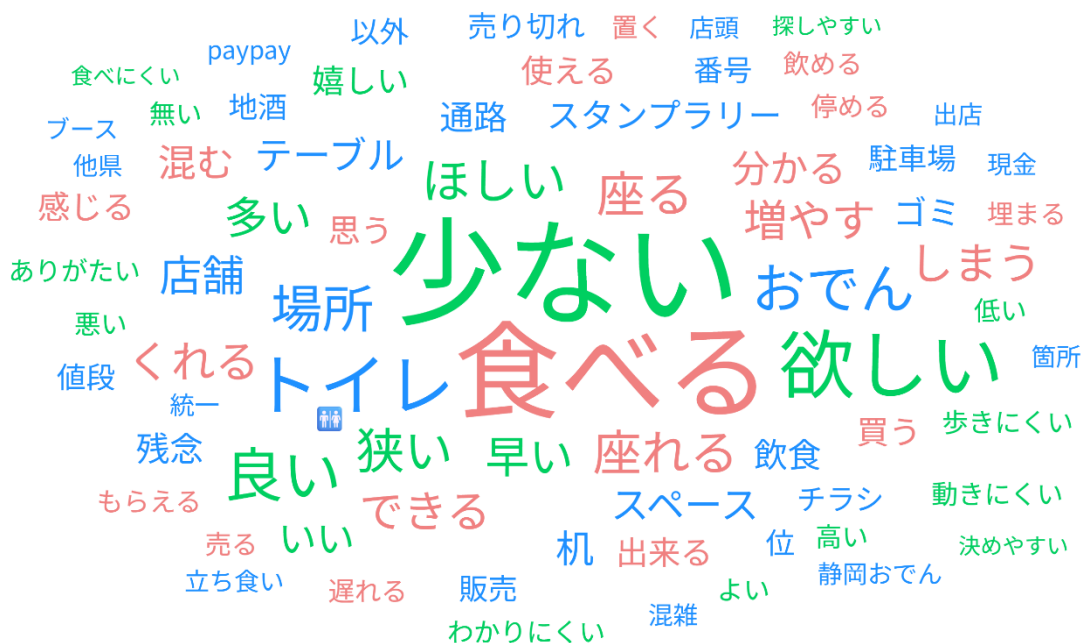
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

② 不便・残念だったこと

昨年に引き続き、飲食スペースやトイレが少ないなど、会場のキャパシティと混雑度合に対する意見が最も多く見られた。

- 少ない (19 件)
 - ・・・人出に対して、食べるスペースが少ない、トイレが少ない
- セット・単品 (11 件)
 - ・・・単品で食べられれば食べ比べが出来る、単品で買えなかったのが残念

【ワードクラウド図】 ※青字・・・名詞、赤字・・・動詞、緑字・・・形容詞



(n=117)

出典：ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析

(<https://textmining.userlocal.jp/>)

静岡おでん祭 2026
来場者アンケート調査
報告書

2026（令和8）年3月

公益財団法人するが企画観光局
（地域連携DMO）

〒420-0837 静岡市葵区日出町1-2 TOKAI 日出町ビル9階

T E L 054-204-6677（調査分析グループ）

F A X 054-205-3639

M A I L info@suruga-mtb.or.jp